

1 学校教育目標

考えの深い 心の豊かな 実行力のある子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○学び合う学校 ○安全・安心な学校 ○連携する学校 ・学力をつける学校…分かる授業・感動の息づく体験・人との関わりの喜びのある学校 ・開かれた学校…保護者・地域から信頼され、誇りと思われる学校
○児童・生徒像	○最後まで挑戦する児童 ○健康で自他を大切に行動できる児童 ○学びを生活に活かす児童 ・自ら考え、行動して、自己をよりよく高めていく子 ・相手を思いやり、互いに磨き合って、豊かに関わり合える子
○教師像	○強みを活かし、協働できる教師 ○凡事徹底・信頼できる教師 ○協働し、相互に高め合える教師 ・どの子も分かる喜びをもてる授業をつくり、自らも学び続ける教師 ・組織人としての自覚をもち、主体的に学校運営に参画する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

《現状》

- ・学校…学力定着・学力向上を最重点にキャリア教育の視点も教育活動全体の基本に置きながら、地域の特色を生かす教育を進めている。
- ・児童…明るく素直な児童が多く、地域・PTAの行事にも積極的に参加している。
- ・教師…教育活動に熱心に取り組む。校内OJTの充実・研究研修により指導力の向上を図っている。
- ・地域・保護者…遺跡や寺町など、地域の文化的環境に恵まれている。強い協力関係である。

《前年度の成果と課題》

- 6年間保存用「家庭学習の手引き」を作成し、全学年が自主学習ノートで主体的な学習習慣作りをスタートした。今後も自主学習の定着を目指す。
- 新しい生活様式を守り、思いやりと協力的な行動ができた。今後も「めあて」と「まとめ」「振り返り」の結果から授業改善や生活の工夫を目指す。
- 外部講師による講話や体験から、学びと社会のつながりを知る開かれた教育の推進を図った。今後も全校的に計画的・系統的な取組を目指す。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成及び体力の向上	○	○	○	○	○
3	地域社会に開かれた教育	○	○	○	○	○

行事を展開しアイコン

5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
自主・連携 最後まで挑戦し続ける児童の育成		令和3年度目標通過率	85%						
		到達度確認テスト12月	90%						
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	学力の定着 「自主学習ノート」 「ICT活用による補習・補充学習」	全学年 全教科	通年 (4月～)	【指導者体制】全教員 【取組みのねらい・目的】 主体的な学習習慣の形成。 【方法】◇「家庭学習の手引き」(6年間保存版)、自主学習ノート(学年共通)の活用。 ◇eライブラリーの活用	◇学習時間状況調査 ◇自主学習ノートの点検(毎週) ◇区学力調査の通過率	◇6・1月の学習週間で各学年の学習目標時間達成率85%以上 ◇自主学習ノートの提出率80% ◇4月通過率85%			
2 継続	課題解決学習「言語活動の充実」 「ICTによる情報活用」	全学年 全教科	通年 研究授業(7月～4回以上) OJT研修 随時	【指導者体制】全教員 【取組みのねらい・目的】 読解力・思考力・判断力・表現力の育成。 【方法】◇聞く・話す・読む・書く・伝え合う活動の実施 ◇検索やプレゼン機能の活用	◇校長、教科指導専門員等による授業観察と指導・助言 ◇児童の学校評価(ICT)	◇12月に実施する到達度確認テストで、目標値を通過する児童90%以上 ◇ICT活用評価50%以上			
3 新規	学校図書館の活用 「読書の充実」「図書資料による情報の選択・活用」	全学年 全教科	通年 (4月～) 学校図書館基本計画に基づき実施	【指導者体制】 教員+図書支援員 【取組みのねらい・目的】 読書習慣と調べ学習の推進 【方法】◇本の紹介◇図書資料を用いた情報の収集・選択・整理・活用の仕方を学ぶ。	◇各学年の目標冊数調査 ◇調べる学習コンクール等への参加状況	◇6月・10月の読書旬間の読書記録(通帳、カード)による各学年の目標冊数達成率80% ◇参加率90%			

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成及び体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 健康で自他を大切に行動できる児童の育成		学校評価アンケート「児童の様子」の肯定的評価80%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
挨拶の励行・ 人権意識の向上	◇学校評価アンケート「挨拶」の肯定的評価90%以上 ◇校内人権研修、道徳授業公開講座の実施 ◇障がい者による授業	◇「挨拶の取組・プラス言葉の取組」を年間通して全学級で実施する。 ◇ユニバーサルデザインによる全教室の整備（掲示物等） ◇パラ選手による体験授業。			
いじめの根絶・不登校の解消	◇ハイパーQU を活用した校内研修の実施と学級経営・教育相談の充実 ◇いじめアンケートや相談 Box の活用で未然防止と早期発見・解消	◇校内委員会を中心に全教職員で情報を共有し、SC や関連機関との連携による児童の良さや可能性を伸ばす指導。 ◇年間3回アンケートを実施。 ◇代表委員会による「いじめ根絶標語作り」（9月実施）			
異学年活動の充実	◇授業の振り返り、クラブ・委員会活動の振り返りの肯定的自己評価で80%以上	◇異学年活動の充実（縦割り班、クラブ・委員会活動） ◇特別活動の充実（ユニセフ募金、エコキャップの回収、ゴミゼロ清掃活動等の活動を全校で実施）			
健康・体力の向上	◇安全指導教室の実施（年間3回） ◇体力テスト（持久力の向上）、食育の講話（年間2回）実施	◇交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室実施 ◇運動習慣の形成（縄跳びカード、持久走カード）。各種給食ウィークの取組実施。			

重点的な取組事項－3		地域社会に開かれた教育～学校教育活動の「見える化」～			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 学びを生活に活かす児童の育成		学校評価アンケート「連携について」 肯定的評価70%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・開かれた学校づくり協議会による年間2回以上の学校評価アンケート	◇2回の学校評価アンケートの平均回収率70%以上 ◇各項目肯定的評価70%以上	◇学校評価アンケートを実施（公開授業後、年2回） ◇11月と2月の学校公開期間中に、授業診断を行い、結果を授業改善に生かす。			
幼保小中連携教育	◇小1プロブレム問題発生ゼロ ◇中1ギャップ問題発生ゼロ	◇あだち幼保小接続期カリキュラムについて実践・実施状況調査。 ◇幼稚園・保育園への学校紹介リーフレットの作成。教員の交流研修。 ◇中学校との教科研究、授業公開協議会・講演会の実施。 ◇小中連携校との学校便りの交換（毎月）			
キャリアタイム 「将来の夢や希望を持たせることにより、自己肯定感や学習意欲の向上」	◇全学年対象。学習への内発的動機の喚起 ◇自己肯定感や学習意欲の向上	◇地域人材の活用、外部講師の活用により、全校朝会での講話。年10回以上（7月～） ◇実施後のレポート（毎回） ◇学力調査の意識調査。学習意欲や将来の希望について調査と学力状況との相関について調査・分析。			

1 学校教育目標

考えの深い 心の豊かな 実行力のある子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○学び合う学校 ○安全・安心な学校 ○連携する学校 ・学力をつける学校…分かる授業・感動の息づく体験・人との関わりの喜びのある学校 ・開かれた学校…保護者・地域から信頼され、誇りと思われる学校
○児童・生徒像	○最後まで挑戦する児童 ○健康で自他を大切に行動できる児童 ○認め合い、深め合える児童 ・自ら考え、行動して、自己をよりよく高めていく子 ・相手を思いやり、互いに磨き合って、豊かに関わり合える子
○教師像	○強みを活かし、協働できる教師 ○凡事徹底・信頼できる教師 ○協働し、相互に高め合える教師 ・どの子も分かる喜びをもてる授業をつくり、自らも学び続ける教師 ・組織人としての自覚をもち、主体的に学校運営に参画する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

《現状》

- ・学校…学力定着・学力向上を最重点にキャリア教育の視点も教育活動全体の基本に置きながら、地域の特色を生かす教育を進めている。
- ・児童…明るく素直な児童が多く、地域・PTAの行事にも積極的に参加している。
- ・教師…教育活動に熱心に取り組む。校内OJTの充実・研究研修により指導力の向上を図っている。
- ・地域・保護者…遺跡や寺町など、地域の文化的環境に恵まれている。強い協力関係である。

《前年度の成果と課題》

- 協力や思いやりの心も学校全体として育てている。学級を基盤とした規律の確立、全校児童を常に全教職員で見守っていく体制をさらに継続する。
- 全校的に計画的・系統的な学力向上へ向けての取組み、区学力調査の結果から授業改善を進めた。できるまで挑戦し続ける態度の育成が課題である。
- オリパラアワード校として体育的活動の活性化、体育科授業の充実、健康教育の実践を推進し体力の向上を進めた。年間を通しての体力向上を目指す。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	○	○
2	豊かな心の育成及び体力の向上	○	○	○	○	○
3	地域社会に開かれた教育	○	○	○	○	○

5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
自主・連携 最後まで挑戦し続ける児童の育成		到達度確認テスト12月 95% 令和3年度目標通過率 85%		◇1月調査結果 89% (国語87%、算数91%) ◇2月調査結果 79% (国語77%、算数81%)		◇区学力調査において区平均を上回った。引き続き、学力の向上・定着を図る。学習の定着状況と具体的な取組は6(1)を参照。		○	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	家庭学習の手引き「自主学習の定着・充実」	全学年 全教科	通年 (7月～)	【指導者体制】全教員 【取り組みのねらい・目的】主体的な学習習慣の形成。 【方法】◇「家庭学習の手引き」(6年間保存版。7月作成)の活用。 ◇自主学習ノート(学年共通)の活用	◇学習時間状況調査(6・1月ひがし学習週間) ◇自主学習ノートの点検(毎週)	◇各学年の学習目標時間達成率85%以上 ◇自主学習ノートの提出率80%	◇学習時間は全学年で達成できた。 ◇自主学習ノートの提出は今一歩。提出率80%は9割弱達成できた。	◇学習目標時間は6年間を見通し、今後も家庭と連携していく。 ◇提出できない児童が固定化している。個別対応していく。	○
2 新規	授業改善「思考・表現する力の育成」	全学年 全教科	通年 研究授業(10月～4回以上) OJT研修 随時	【指導者体制】全教員 【取り組みのねらい・目的】読解力・思考力・判断力・表現力の育成。 【方法】◇足立スタンダード(振り返り)の確実な実施 ◇ICT機器の活用	◇校長、教科指導専門員等による授業観察と指導・助言 ◇ノート等の点検	◇12月に実施する到達度確認テストで、目標値を通過する児童95%以上 ◇ノート等の提出95%以上	◇1月実施では算数はほぼ達成でき、国語は達成できない児童が2割程度いる。 ◇ノートの提出は100%達成できた。	◇つまずきの応じた個別指導(放課後、全校体制)を継続していく。 ◇めあて・まとめが一体化した指導を展開していく。	△
3 継続	キャリアタイム「学習への内発的動機喚起」	全学年 教科横断的に実施	全校朝会での講話年10回以上(10月～)	【指導者体制】教員+外部講師 【取り組みのねらい・目的】将来の夢や希望を持たせることにより、自己肯定感や学習意欲の向上を図る。	◇実施後のレポート(毎回) ◇学力調査の意識調査	◇意識調査により、学習意欲や将来の希望について調査。学力状況との相関について調査・分析	◇放送での講話8回実施。特に地域の歴史の話は、地域の理解や興味・愛着が深まった。	◇感染症予防のため外部講師の来校が少なかった。放送で実施した。更に工夫していく	○

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成及び体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 健康で自他を大切に行動できる児童の育成		学校評価アンケート「児童の様子」の肯定的評価95%以上	◇児童による肯定的評価82%。 保護者による肯定的評価66%	◇制限にある生活だったため、関りが少なく肯定的評価も減少傾向だった。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
挨拶の励行	◇学校評価アンケート「挨拶」の肯定的評価90%以上	◇「挨拶の取組・プラス言葉の取組」を年間通して全学級で実施する。	◇「挨拶」の肯定的評価 83% ◇「言葉遣い」の肯定的評価75%	◇各学級での取組となった。制限にある生活のため、例年より肯定的評価が減少した。	○
いじめの根絶・不登校の解消	◇ハイパーQU を活用した校内研修の実施と学級経営・教育相談の充実 ◇いじめアンケートや相談 Box の活用で未然防止と早期発見・解消	◇校内委員会を中心に全教職員で情報を共有し、SC や関連機関との連携による児童の良さや可能性を伸ばす指導。 ◇年間3回アンケートを実施。 ◇代表委員会による「いじめ根絶標語作り」(9月実施)	◇校内委員会を月1回B部会と合同開催し、情報共有・組織的対応ができた。 ◇アンケートや相談 Box の活用で未然防止と早期対応ができた。 ◇代表委員会による「いじめ根絶標語」を校内放送で周知した。	◇校内研修(学級経営・教育相談、ハイパーQU)の実施で指導と組織的対応を更に充実していく。 ◇アンケートや相談Box, 標語作りは有効であり、継続していく。	◎
言語環境の整備	◇調べ学習、読書活動、俳句作りに実施(年間2回) ◇授業の振り返り、クラブ・委員会活動の振り返りの肯定的自己評価で80%以上	◇学校図書館の活用(調べ学習、読書活動、俳句作り) ◇教科指導での言語活動の充実(聞く・話す・話し合う・読む・書く・伝え合う活動) ◇異学年活動の充実(縦割り班、クラブ・委員会活動)	◇全学年で、調べ学習、読書活動、俳句作りを実施した。 ◇制限のある中での話し合い(ペア、トリオ、少人数)と書く活動を意図的に実施した。 ◇10月～縦割り班活動(中休み)を実施し、6月末～クラブ・委員会活動を実施した。肯定的自己評価で80%を達成した。	◇図書館支援員と連携し、図書館活用ガイダンス、おすすめの本紹介、調べ学習の進め方等、各学年の年間指導計画を作成し系統的に進める。 ◇異学年活動に、言語活動(話し合い、伝え合い)と交流活動(自他を大切にしたい行動)を結び付け進めていく。	○
人権意識の向上	◇校内人権研修、道徳授業公開講座の実施 ◇安全指導教室の実施(年間3回)	◇道徳、特別活動等の充実 ◇交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室などの実施	◇道徳授業公開講座、安全指導教室の公開は全て中止となったが、校内のみで実施した。 授業の様子はHPや学校だより等公開した。	◇外部講師(警察、薬剤師、N T T等)による指導は効果的であり継続していく。 HPや学校だより等で授業の様子を公開していく。	○

重点的な取組事項－3		地域社会に開かれた教育～学校教育活動の「見える化」～			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 学びを生活に生かす児童の育成		学校評価アンケート「連携について」 肯定的評価95%以上	◇一部の項目のみ学校評価アンケートを実施。肯定的評価 66%	◇制限にある生活だったため、関りが少なく肯定的評価も減少傾向だった。	△
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者による年間2回以上の学校評価アンケート	◇2回の学校評価アンケートの平均回収率70%以上 ◇各項目肯定的評価75%以上	◇学校評価アンケートを実施（公開授業後、年2回） ◇変容の分析と課題への迅速な対応・改善をPDCAサイクルにより行う	◇体育発表会（11月）は保護者のみ公開し、アンケートを実施した。回収率は90%以上、肯定的評価75%以上を達成した。 ◇年度末（2月）に一部の項目のみ学校評価アンケートを実施。肯定的評価 66%	◇体育発表会（11月）は学年ごと参観者入替等の工夫をして実施できた。学習発表会（2月）は公開無、校内交流の工夫で実施した。 ◇状況に応じ可能な範囲で迅速な対応を進めていく。	△
保護者・開かれた学校づくり協議会による授業診断	◇2回の授業診断の平均回収率、参観者の60%以上	◇授業診断の目的、実施方法、活用方法等を丁寧に説明、周知。 ◇11月と2月の学校公開期間中に、授業診断を行い、結果を授業改善に生かす。	◇学校公開の中止により、保護者・開かれた学校づくり協議会による授業診断は実施できなかった。 ◇年度末（2月）に一部の項目のみ学校評価アンケートを実施。肯定的評価 66%	◇開かれた学校づくり協議会は7月に一部役員の打合せを実施した。 ◇HP、学校便り等により授業の様子を伝えた。講師として協力いただきキャリアタイムの活動は継続できた。	△
幼保小中連携教育	◇小1プロブレム問題発生ゼロ ◇中1ギャップ問題発生ゼロ	◇あだち幼保小接続期カリキュラムについて実践・実施状況調査。 ◇幼稚園・保育園への学校紹介リーフレットの作成。教員の交流研修。 ◇中学校との教科研究、授業公開協議会・講演会は中止。 ◇小中連携校との学校便りの交換（毎月）	◇幼保小の教員（各1名）が日時を調整し、学校や園の様子を参観、学校紹介映像を作成し届けた（12月）。 ◇小中連携校との学校便りの交換（毎月）以外にも、近隣中学や特別支援学校との学校便りの交換ができた。	◇感染防止策を取りながら、教員の交流研修や学校紹介映像を作成等で、連携を深めることができた。 ◇令和3年度の小中連携教育は、年度内に計画準備をし、状況に応じて柔軟に進めていく。	△

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

◎学力向上アクションプランについて 挑戦し続ける 児童の育成

成果 ◇自主学習ノート …7月に作成した「家庭学習の手引き」を活用し、全学年が主体的な学習習慣作りをスタートできた。

◇家庭学習の手引き …前年度の学習目標時間の取組を、内容面で更に具体化し、6年間を見通して全学年分の内容を1冊の手引きにまとめ、6年間保存とした。

◇学び合い …他の児童の学習ノート・取組カード等を紹介し、見方・考え方を広げたり深めたりして学び合う。

課題 ◆区学力調査の結果3年生国語においては、読み取った内容を整理して書く力の習熟の度合いが低い。

◆区学力調査の結果算数では、どの学年も図形、小数や分数の計算の習熟がやや低い。また、考え方を説明する力の習熟もやや弱い。

対策 ◆国語の授業では、伝えたいことを整理して大事な言葉を意識して書く・伝え合えるよう指導する。

◆算数の補習学習や個別指導では、具体物を使い図形の構成要素や性質法海、ICTを活用し小数や分数のドリル学習を行い定着を図っていく。

◆校内研究として、授業改善「思考・表現する力の育成」を推進する。

…「めあて」と「まとめ」、「振り返り」が一体化した授業を展開していく。児童が「思考・表現する」学習活動時間をしっかりと確保していく。中でも「振り返り」は、毎時間自分の学習進歩や疑問を確認し、重点的に継続していく。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

◎子供たちの 豊かな成長のために

◇「学校とは何か」「学ぶとは、どうすることか」教育の原点を確認し、学校・家庭・地域の各々の大切な役割を確認・共有し、「子供たちの豊かな成長のために」これからも開かれた教育の推進として、外部講師による学びと社会とのつながりを体験し、児童の興味関心・進路選択の力を育てていきます。これからも、お力添えをよろしくお願いいたします。

◇学校教育目標 「考えの深い（知） 心の豊かな（徳） 実行力（体）のある子」の育成を目指し、令和3年度 東伊興小学校は、

…児童像 ○自ら考え 行動し 自分をより良く 高めていける子（自主）

○相手を思いやり 互いに磨き合って 豊かに関わり合える子（連携）

教師像 ○凡事徹底 自ら学び続ける教師（自主）

○強みを活かし 協働できる教師（連携）

「自主・連携」をキーワードに、教育活動に取り組んでいきます。

(3) その他（学校教育活動全般について）

令和2年度 児童が各方面で活躍し表彰されました。 …作曲コンクール（入賞）、音楽コンクール（奨励賞）、給食献立コンクール（区長特別賞）
調べる学習コンクール（教育長賞）、ポスターコンクール（銀賞・銅賞）、一茶俳句（佳作特別賞）

令和3年度 ○授業改善「思考・表現する力の育成」と開かれた教育の推進

○展覧会等の学校行事

○創立50周年記念行事（11月13日予定）

を計画し前進してまいります。